



仙台発、バリアフリーのまちづくり情報誌

誰でも自由に安全に行動しやすいまち
誰にとってもやさしく利用しやすいまち
誰もが共に助け合い、理解しあって生活するまち
誰もがひとを思いやる心を大切にするまち

第29号

「誰でも」から一歩先へ —必要としている人に必要なときに届く支援のために—



ひとにやさしいまちづくり
推進協議会
会長 阿部 一彦

私たち「ひとにやさしいまちづくり推進協議会」は、これまで“誰もが安心して暮らしやすいまち”を目指し、さまざまな取組みを進めてきました。長く大切にしてきたこの視点は、まちづくりの基本となるものです。しかし、近年感じるのは“誰でも”という言葉の中に、本当に必要としている人の思いや困難が埋もれてしまうことがあるという現実です。

たとえば、多目的トイレは使いたいときに使えず困ってしまう場合があります。多目的トイレは、車いすを使っている方、手足の不自由な方、オストメイトの方、赤ちゃん連れの方など、ふつうのトイレを使いにくい方のトイレで、限られた場所を共有している大切な設備です。“誰でも”ということで不適切な利用が蔓延すれば、このトイレしか使えない方はどうすればよいのでしょうか。

“誰でも”から“必要としている人へ”との解釈が必要なのかもしれません。必要としている人の立場に立って考える心のバリアフリーが大切です。

市民の皆さまに、ご理解いただくことをお願いします。これからのまちづくりは“誰でも使える”からもう一歩進んで、“あたりまえに、必要としている人に、必要な支援が、必要なときに届く”ことが大切です。この視点が広がることで、誰にとってもより安心で、よりやさしいまちに近づいていくと信じています。今後も皆さまとともに、未来の仙台をより良いものにしていきたいと思ひます。



思いやりの一歩をトイレから

仙台市では、車いすを利用する方や高齢の方、乳幼児連れの方などがゆとりをもって利用できる広さを確保した「ひろびろトイレ」の普及に取り組んでいます。近年では、オストメイト対応設備やベビーベッドなど、さまざまな機能を備えることで、より多くの方にとって使いやすいトイレ環境となるよう整備を促しています。

一般のトイレをご利用いただける方の長時間の利用が重なると、ここしか使えない車椅子使用者などが困ってしまいます。

利用される際には、必要とされる方へのゆずりあいの気持ちを大切にしてくださいようお願いします。



ひろびろトイレ



出典：国土交通省

お知らせ

仙台市地下鉄や市内施設などに、適正利用を呼びかけるステッカーを掲示予定ですので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

このトイレを必要とされる方の優先利用に、ご協力をお願いいたします。
Please reserve the use of this stall for those with special needs.
思いやりの心を持って、トイレを利用しましょう。
Thank you for your cooperation.
ひとにやさしいまちづくり推進協議会・仙台市

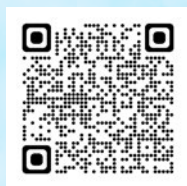
ゆずりあいから生まれる、安心して出かけられるまちへ

宮城県では、公共施設や商業施設などの協力施設に設置されている障害者等用駐車区画について、歩行が困難な障がいのある方など必要な方が必要な時に円滑に利用できるよう利用対象者に「利用証」を交付するゆずりあい駐車場利用制度を整備しています。

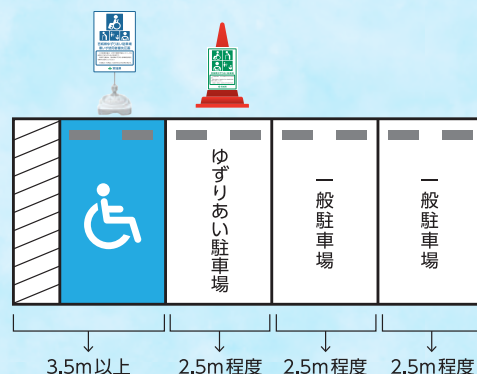
こうした制度は、パーキングパーミット制度とも呼ばれ、全国的に広がりを見せています。仙台市内でも、さまざまな場所で導入されています。

しかし近年、制度の趣旨が十分に理解されないまま利用されるケースが見受けられることがあります。

ゆずりあい駐車場は、障がいのある方や高齢者、妊産婦、けがをされている方など、歩行が困難な方々の外出や移動を支える大切なスペースです。必要とする方が安心して利用できるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



↑
宮城県ゆずりあい
駐車場利用制度の
詳細はこちらから



こどもたちと考える、ひとにやさしいまちづくり

民間の放課後児童クラブよりご依頼をいただき、小学1～3年生を対象に「ひとにやさしいまちづくり」をテーマとした市政出前講座を実施しました（令和7年8月）。講座では、階段や段差、スロープ、エレベーターなど身近な場面を例に、どんなお困りごとがあるのか、どのような工夫があると使いやすいのかをこどもたちと一緒に考えました。スライドやクイズを交えながら、バリアを取り除く工夫を知るだけでなく、困っている人に気づき、行動につなげる心のバリアフリーへと意識を広げる機会となりました。

こどもたちの声



「障がいの有無に関係なく、みんなが安心して暮らせる工夫を知れてよかった」
「点字ブロックの上に物が置かれていたら大人に声をかけてどけてもらう」

バリアフリーについての学びや気づきは、こどもたちの日常の行動や周囲への目配りにつながっていきます。相手を思いやる心が広がることで、だれにとってもやさしく利用しやすい「ひとにやさしいまち」に近づいていきます。

今後も、このような学びの場を通して、こどもたちの成長を応援していきたいと考えています。



仙台市バリアフリーに
関する情報はここから →



編集・発行

ひとにやさしいまちづくり推進協議会
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7-1
☎022-214-8541（仙台市健康福祉局社会課内）

せんだい ひとやさ

検索